

平成29年10月20日
福岡国道事務所

国道3号博多バイパス 現場見学会

～九州で初めて導入された『ICT舗装工』を見学！～

- 国道3号博多バイパスは、国道3号現道の交通混雑の緩和、交通安全の確保、博多港や福岡空港等の広域交通拠点へのアクセス円滑化等を目的とした主要幹線道路です。
- 総延長7.7kmのうち4.4kmについて供用しており、現在、福岡国道事務所において今年度中の供用を目標に残る3.3kmの工事を鋭意推進しています。
- 今般、博多バイパスの工事において一部導入している「ICT舗装工」を広く知っていただくために、現場見学会を下記のとおり開催致します。
- 「ICT舗装工」とは、舗装工程のすべての段階にICT技術を駆使したもので、今回工事が九州では初めての導入となります。（別紙－1参照）

記

開催日時：平成29年10月24日（火）13時30分～15時00分（予定）

開催場所：福岡市東区香椎2丁目（別紙－2参照）

「福岡3号 香椎地区舗装工事」

対 象：自治体職員、施工業者、報道関係者

※取材を申し込まれる方は、駐車場の準備等がありますので、別紙－3にご記入の上、10月23日（月）12時までにFAXにて送信願います。

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話：092-681-4731（代表）

【博多バイパス事業に関すること】	技術副所長	甲斐 靖志	（内線 204）
	工務課長	工藤 浩一郎	（内線 411）
【ICT活用施工に関すること】	事業対策官	竹永 浩	（内線 208）
	管理第二課長	岩本 誠治	（内線 441）

E-mail：fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/



①レーザーキャナ等で 事前測量

レーザーキャナ等により、短時間で面的(高密度)な3次元測量を実施

②3次元測量データによる 設計・施工計画

事前測量
舗装工事
設計図面

3次元設計データと事前測量結果の差分から、施工量を自動算出。

施工量
自動算出

下層路盤

③ICTグレーダ等による 施工

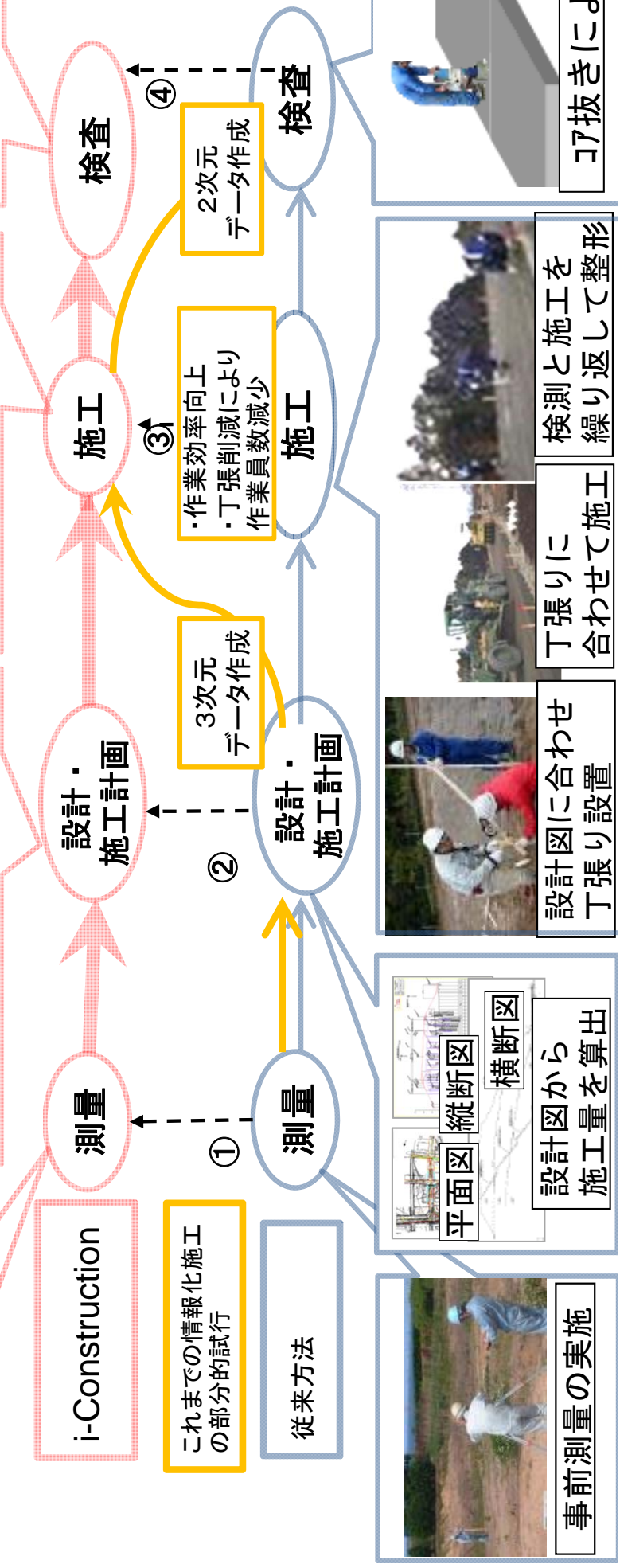
3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御

全方位GPS
無線による位置情報データの送信
コントローラ
自動運転システム(AGC方式)
フレートの自動制御

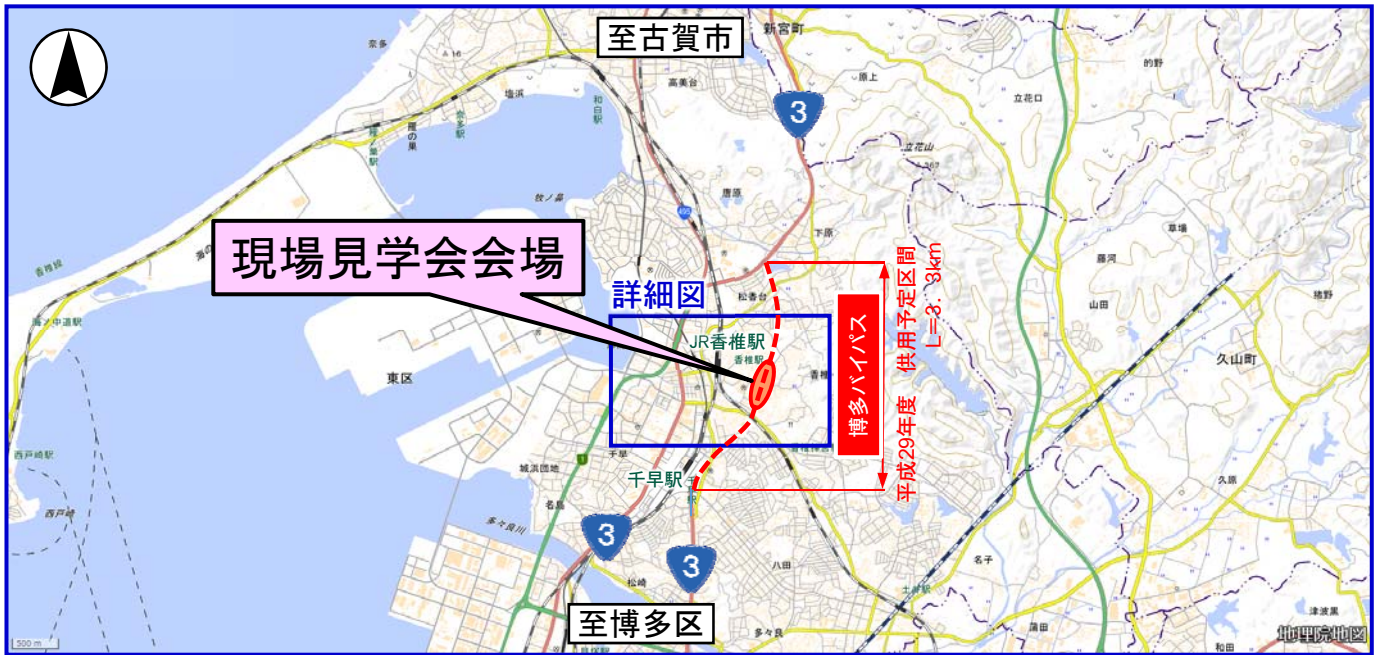
④検査の省力化

レーザーキャナ等の計測結果活用した検査等により、出来形の書類が半減

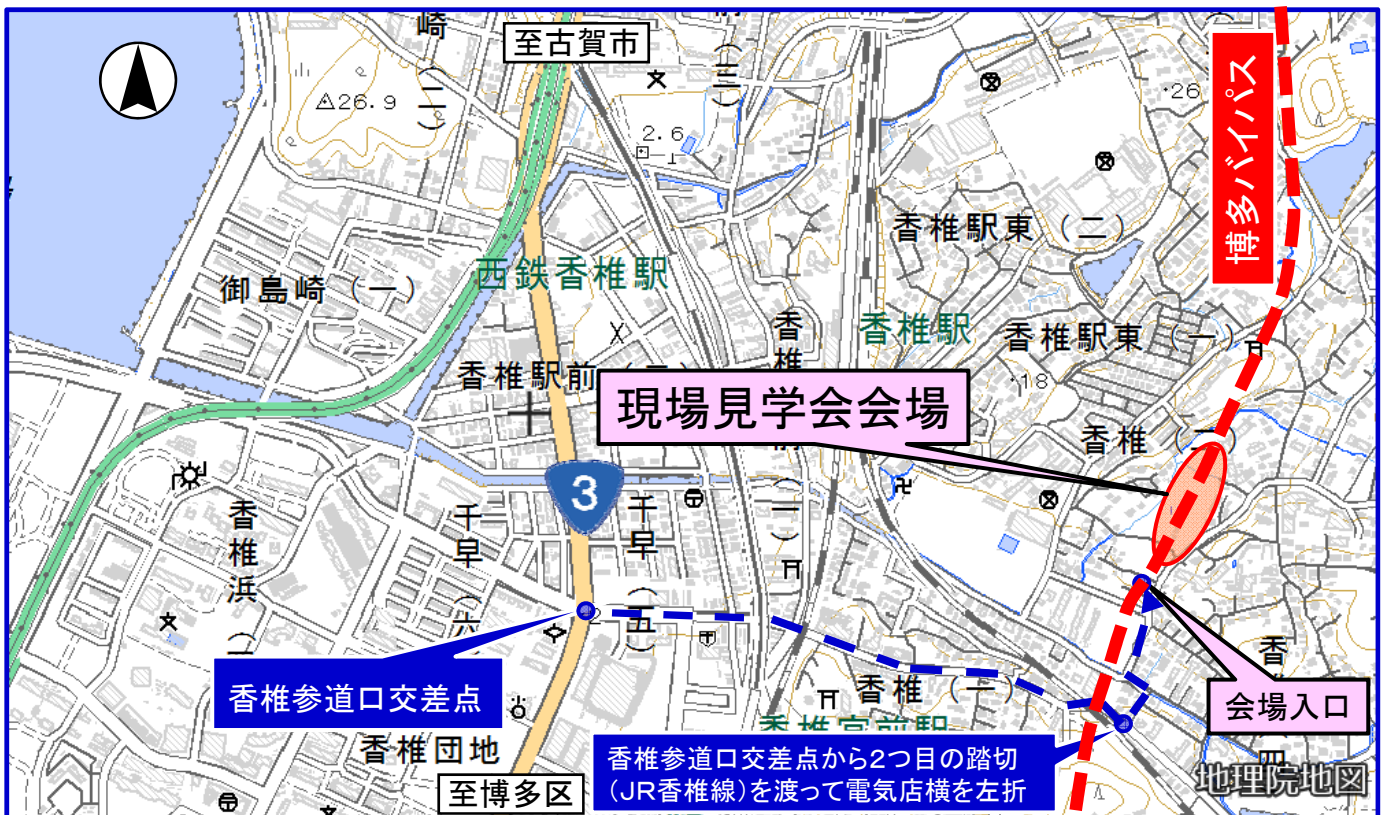
OK
発注者



●開催場所(位置図):現場見学会会場



●開催場所(詳細図):現場見学会会場



※報道関係者用

平成 年 月 日

国土交通省 九州地方整備局
福岡国道事務所 事業対策官 宛
(FAX:092-682-7804)

【博多バイパス現場見学会 『ICT舗装工』 開催日:平成29年10月24日】

機関名	参加(来場) 人数	車台数	代表者の連絡先
	名	台 (車種)	所属(部署) 氏名 連絡先(TEL)

※手書き記入で結構です。